

インドネシア共和国  
第三国集団研修終了時評価報告書  
～家族計画におけるIEC～

平成9年2月  
(1997年2月)

JICA LIBRARY



J 1139285 (9)

国際協力事業団  
研修事業部

JICA  
108  
982  
TAF  
BRARY

研一  
JR  
97-005

インドネシア共和国  
第三国集団研修終了時評価報告書  
～家族計画におけるIEC～

平成9年2月  
(1997年2月)

国際協力事業団  
研修事業部



1139285 (9)

## 序 文

第三国研修とは、社会的、文化的、言語的に共通の基盤を持つ同一の開発途上地域に研修実施国を選定し、そこに当該地域内の途上国から研修員を受け入れ、より現地事情に適合した適正技術、知識の移転を図るとともに、これにより開発途上国間技術協力（T C D C : Technical Cooperation among Developing Countries）の推進に寄与することを目的としています。

インドネシア・第三国集団研修「家族計画における I E C」は、アジア・大洋州地域諸国において国家家族計画に携わる中間管理者に対し、家族計画における I E Cに関する知識および技術を習得させることを目的としており、インドネシア国家家族計画調整委員会（B K K B N）で実施されています。

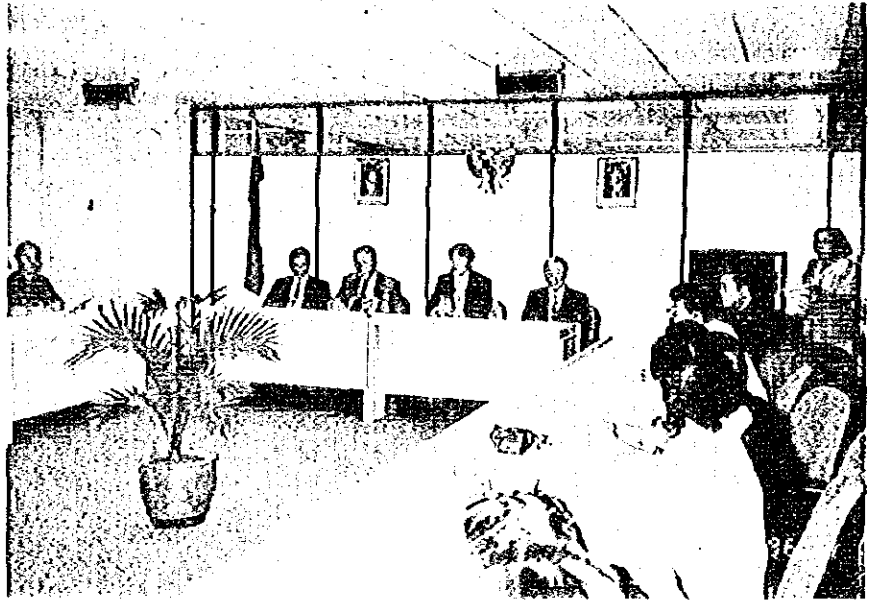
本報告書は、同研修の第1回から第4回コースを総合的に評価すべく、平成8年6月28日から同年7月10日まで当事業団が派遣した研修評価調査団の調査結果を取りまとめたものです。

本調査の実施に際し、ご協力いただいた外務省および在インドネシア日本大使館の関係者に対し、深い謝意を表する次第です。

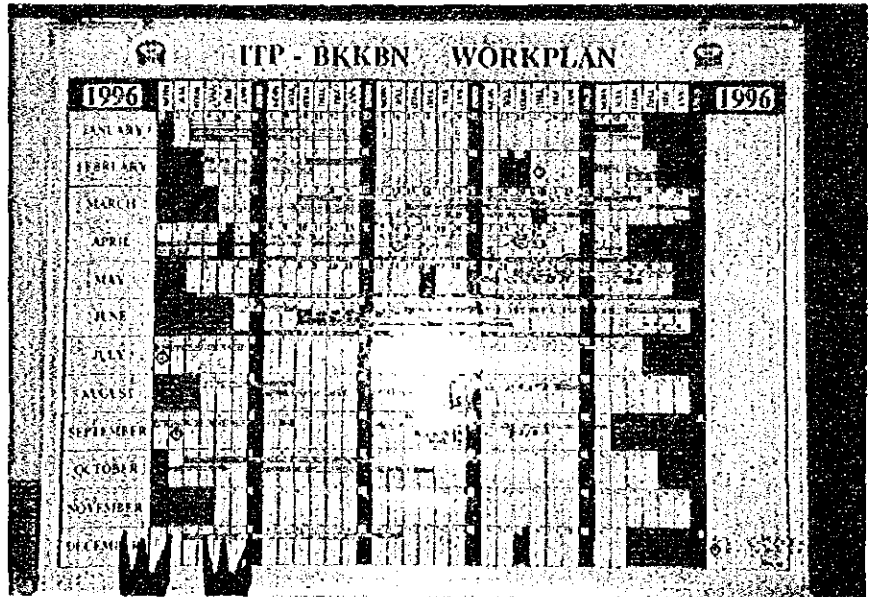
平成9年1月

国際協力事業団

理事 飯島 正孝



▶ 第4回コース閉講式



▶ BKKBN の国際研修  
スケジュール表



▶ ミニッツ署名

# 目 次

序文	
写真	
第1章 終了時評価調査団の派遣	1
1-1 評価調査団派遣の経緯と目的	1
1-2 評価調査団の構成	1
1-3 評価調査団の日程	1
1-4 終了時評価の方法	2
1-5 主要面談者	3
第2章 第三国集団研修コース概要	5
2-1 コース概要	5
2-2 R/D協力期間	5
2-3 研修カリキュラム	6
2-4 研修員受入実績	6
2-5 短期専門家派遣実績	7
2-6 カウンターパート研修員受入実績	7
第3章 研修コース設定および運営の経緯	8
3-1 コース設定の経緯	8
3-2 コース運営の経緯	8
第4章 評価結果	9
4-1 目標達成度	9
4-2 研修効果	10
4-3 研修実施体制	13
4-4 自立発展の見通し	16
第5章 総括	17
5-1 評価の総括	17
5-2 提言	17

資料

1	終了時評価シート .....	21
2	ミニッツ .....	25
3	クエスチョネア集計表 .....	38

## 第1章 終了時評価調査団の派遣

### 1-1 評価調査団派遣の経緯と目的

現在、人口1億9000万を有する人口大国であるインドネシアでは、1969年に国家家族計画調整委員会（BKKBN）を設立し同国の家族計画プログラムを推進してきたが、同時にわが国に対しても家族計画・母子保健にかかわる技術協力を要請してきた。わが国はこの要請に対し、1969年から二度にわたるプロジェクト方式技術協力（ジャカルタ市家族計画プロジェクト、家族計画・母子保健プロジェクト）の実施を通じこれに協力してきた。

BKKBNでは、わが国が技術移転をしてきた家族計画に関する技術、特にわが国の得意分野である視聴覚分野の技術を、インドネシアと同様に国家家族計画の開発に取り組んでいるアジア・大洋州地域諸国に普及させることを目的とし、わが国に第三国研修の実施を要請した。この要請に基づき、わが国は事前調査を実施し、その結果、5年間にわたる研修の実施に関する協力について1993年7月にR/Dを署名・交換した。

本調査団は、過去4回実施した協力について、当初計画に照らして研修の活動実績、管理運営状況および研修効果などについて評価を行い、目的達成度の判定を主目的とし、さらに評価結果から教訓および提言を導き出し、今後の協力のあり方や実施方法について、関係者の判断に資するために派遣されることになったものである。

### 1-2 評価調査団の構成

団長・総括 家野 幸輔 (株) ティックス視聴覚技術インストラクター主任  
研修評価 荒木 康充 国際協力事業団沖縄国際センター研修課

### 1-3 評価調査団の日程

現地での調査日程は以下に示すとおりである。

日順	月日(曜日)	調査日行
1	6月28日(金)	東京発 → マニラ着 JICAフィリピン事務所打合せ
2	6月29日(土)	資料整理
3	6月30日(日)	休日
4	7月1日(月)	NEDA表敬 保健省(DOH)との協議 参加研修員へのインタビュー調査
5	7月2日(火)	母子保健プロジェクト・サイト視察および専門家との意見交換



6	7月3日(水)	マニラ発 → ジャカルタ着 JICAインドネシア事務所打合せ
7	7月4日(木)	SEKKAB表敬、BKKBN表敬および施設見学 BKKBNとの協議(合同評価)
8	7月5日(金)	BKKBNとの協議、研修参加者との意見交換、閉講式出席
9	7月6日(土)	ミニッツ案作成
10	7月7日(日)	資料整理
11	7月8日(月)	ミニッツ最終協議
12	7月9日(火)	在インドネシア日本大使館、JICAインドネシア事務所への 報告 ジャカルタ発 →
13	7月10日(水)	← 東京着、JICA研修事業部への報告

#### 1-4 終了時評価の方法

評価調査は、ロジカル・フレームワークの考えを取り入れ策定された「研修員受入事業案件の評価ガイドライン」を参考に、第三国研修の評価に必要な事項を加えて行うもので、以下の段階に分けられる。

##### ① 国内準備作業

- ・コースレポートの分析
- ・短期専門家報告書の分析
- ・クエスチョネア(研修員宛)送付

##### ② 現地評価調査

- ・クエスチョネアの回収・分析
- ・帰国研修員からのヒアリング調査
- ・他国関連プロジェクト専門家からの意見聴取
- ・面談調査および要望のヒアリング(関連機関、参加研修員)
- ・研修実施機関の自己評価および要望のヒアリング
- ・BKKBNの研修施設の視察
- ・評価結果確定、ミニッツ署名

##### ③ 報告書作成

- ・調査団評価報告書の作成

1-5 主要面談者

<フィリピン側関係者>

(1) 保健省 (Department of Health)

Ms. Angelina K. Sebial Chief, Division of Information, Public  
Information and Health Education Service

(2) 国家経済開発庁 (National Economic and Development Authority)

Ms. Aurora T. Collantes Desk Officer, Special Committee on Scholarships

Ms. Desiree C. Abrau Desk Officer, Special Committee on Scholarships

(3) 母子保健プロジェクト

田口 昭夫 視聴覚技術専門家

仲盛 綾子 視聴覚技術専門家

(4) 帰国研修員

Ms. Araceli Russel B. Velarde Information Officer III, Communication and  
Population, Regional Health Office XI  
(第2回コース参加)

Ms. Maria Xema M. Serio Information Officer II, Communication and  
Population, Regional Health Office VI  
(第3回コース参加)

Mr. Primitivo A. Razonable Information Officer II, Department of Health,  
Regional Health Office XI (第3回コース参加)

Mr. Penato B. Ty Information Officer II, Department of Health,  
Regional Health Office XII (第3回コース参加)

(5) JICA フィリピン事務所

力石 寿郎 次長

小林 信行 所員

Mr. Florencio B. Perez 所員

<インドネシア側関係者>

(1) BKKBN

Drs. Sardin Pabbaddja Deputy for Program Planning and Analysis

Dr. Loet Affandi Affandi Deputy for General Affairs

Prof. Santoso S. Hanidjoyo Coordinator, International Training Program

Dr. Pudjo Rahardjo Director of the International Training on  
Population and Family Planning

Dr. Ratna Tjaya	Chief Bureau of Planning
Drs. Jasmi Kamil	Division Chief of the International Training on Population and Family Planning
Drs. Furqan IA Faried	Sub Division Chief, Media Production
Dr. Donald S Chauls	International Training Advisor
Drs. Wilma H. Goppel	Counsellant for South-South Cooperation United Nations Population Fund
山城 吉徳	短期専門家

(2) Cabinet Secretariat

Mr. Benny Hamid	Head, A S E A N Program Sub Division
Mr. Suprpto	Head of Indonesia T C D C Programme Sub Division

(3) 在インドネシア日本大使館

川村 泰久	一等書記官
粗 信仁	参事官

(4) J I C A インドネシア事務所

中垣 長睦	次長
上石 博人	所員
Mr. Ahmad Djanan	所員

## 第2章 第三国集団研修コース概要

### 2-1 コース概要

#### (1) コース名

和 文：家族計画における I E C

英 文：Information, Education and Communications in Family Planning :  
Indonesian Case Study and Media Production

#### (2) 研修実施機関

国家家族計画調整委員会 (National Family Planning Coordinating Board : B K K  
B N)

#### (3) コースの到達目標

① インドネシアの家族計画の状況を学び、各国からの参加者との意見交換を通じ、  
参加者が自国の家族計画プログラムの改善に役立てるようにする。

② 基本的な視聴覚メディア (ビデオ) 制作技術を習得する。

#### (4) 参加資格要件

① 各国政府から推薦された者

② 国家家族計画に従事する中間管理職

③ 英語が堪能な者

#### (5) 定員・割当国

① 定 員：18名

② 割当国：15カ国

バングラデシュ、ブータン、カンボディア、中国、インド、ラオス、マレーシア、  
モルディヴ、モンゴル、ネパール、パキスタン、パプア・ニューギニア、  
フィリピン、スリ・ランカ、ヴィエトナム

### 2-2 R/D協力期間

毎年25日間

第1回 1994年1月12日～1994年2月5日

第2回 1994年7月20日～1994年8月13日

第3回 1995年6月14日～1995年7月9日

第4回 1996年6月12日～1996年7月7日

### 2-3 研修カリキュラム

- |                        |     |
|------------------------|-----|
| (1) インドネシアにおける家族計画概要   | 3日間 |
| (2) 地域、市、村レベルの家族計画活動概要 | 8日間 |
| (3) ビデオ制作              | 8日間 |
| (4) アクションプラン策定         | 3日間 |

### 2-4 研修員受入実績

応募人数：72名

受入人数：65名

\*各コースおよび割当国ごとの応募・受入人数は表1のとおり

表1 The Number of Applicants and Participants

	1993		1994		1995		1996		Total	
	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
Bangladesh	0	0	0	0	4	4	2	2	6	12
Bhutan	1	1	0	0	1	1	1	1	3	5
Cambodia	2	2	0	0	0	0	3	2	5	7
China	2	2	2	2	2	2	2	2	8	14
India	0	0	2	2	2	2	1	1	5	10
Laos	1	1	0	0	0	0	1	1	2	3
Malaysia	0	0	0	0	0	0	1	1	1	2
Moldives	0	0	1	1	1	1	1	1	3	6
Mongolia	2	2	0	0	0	0	1	1	3	4
Nepal	0	0	1	1	0	0	5	2	6	9
Pakistan	1	1	2	2	1	1	0	0	4	7
PNG	2	2	0	0	1	1	0	0	3	4
Philippines	0	0	4	4	3	3	0	0	7	14
Sri Lanka	1	1	4	4	0	0	5	2	10	16
Vietnam	2	2	0	0	2	2	2	2	6	10
Total	14	14	16	16	17	17	25	18	72	65

A = The number of applicants

B = The number of participants

## 2-5 短期専門家派遣実績

### (1) 第1回コース

派遣専門家氏名：2名

家野 幸輔 (財) 日本国際協力センター

知念 潤 (財) 日本国際協力センター

派遣期間：1994年1月17日～1994年2月6日

指導科目：家族計画におけるIECにかかる技術指導

### (2) 第2回コース

派遣専門家氏名：2名

家野 幸輔 (財) 日本国際協力センター

前川 朝康 (財) 日本国際協力センター

派遣期間：1994年7月5日～1994年7月13日

指導科目：家族計画におけるIECにかかる技術指導

### (3) 第3回コース

派遣専門家氏名：2名

家野 幸輔 (財) 日本国際協力センター

前川 朝康 (財) 日本国際協力センター

派遣期間：1995年6月18日～1995年7月9日

指導科目：家族計画におけるIECにかかる技術指導

### (4) 第4回コース

派遣専門家氏名：1名

山城 吉徳 (財) 日本国際協力センター

派遣期間：1996年6月22日～1996年7月9日

指導科目：家族計画におけるIECにかかる技術指導

## 2-6 カウンターパート研修員受入実績

### (1) 氏名：Mr. Surjanto Soebardji

課目：視聴覚機器管理、メディア制作および研修管理

期間：1996年1月11日～1996年5月3日

(視聴覚技術カウンターパート合同コース参加)

### (2) 氏名：Mr. Humphrey Apon

課目：視聴覚メディア制作

期間：1996年5月9日～1996年8月29日

(〔集団〕視聴覚メディア制作(A)コース参加)

## 第3章 研修コース設定および運営の経緯

### 3-1 コース設定の経緯

本件第三国研修の実施機関であるインドネシア国家家族計画調整委員会（BKKBN）は、1969年に設立された政府機関であり、ジャカルタの本部を中心に27州、301の県レベルまでそれぞれのオフィスを設け、政府機関、民間組織と連携をとりながら、家族計画プログラムを実施している。また、村レベルでは、フィールドワーカーやボランティアが活動を支えており、着実に成果をあげている。

一方、BKKBNを実施機関とするわが国の技術協力は、1970年から1985年までの「ジャカルタ市家族計画プロジェクト」、1987年から1994年までの中部ジャワ州をモデルとした「家族計画・母子保健プロジェクト」、1993年の家族計画広報普及車整備計画（無償資金協力）に及んでいる。

開発途上国からインドネシアの「人口／家族計画」の手法や実際例について高い研修ニーズがあることから、BKKBNはインドネシアの経験を紹介すべく独自の国際研修プログラム（ITP）を、UNDP等の国際機関やUSAID等の先進国各援助機関の協力のもとに1987年から実施し、毎年多くの研修生を海外から受け入れている。近年、さらに研修ニーズは増大し多様化する傾向にあり、これらのニーズに対応するため、1993年5月、わが国に対し第三国研修コース実施の協力を要請してきた。

わが国はこの要請に基づき、研修計画概要および実施機関の研修実施体制について事前調査を実施し、この結果、5年間のコース実施に関する協力について、1993年10月にR/Dを署名・交換した。

### 3-2 コース運営の経緯

本コース運営にあたっては、インドネシア国家家族計画調整委員会（BKKBN）のなかのITP（International Training Program）部署が実質的な運営を担当している。同部署は、本件第三国研修のほかにも、家族計画に関する現場視察型の国際研修を5コース実施している。

研修は、基本的にはBKKBNの職員が実施し、ビデオ制作研修については全過程を担当できる職員はいないため、教育文化省に属するメディア制作機関であるPUSTEKKOMの職員とITPの担当官が共同で実施している。

日本人短期専門家は毎年2名派遣され、ビデオ制作分野における技術指導手法の技術移転を、PUSTEKKOM職員およびBKKBNの担当技官に行っている。

## 第4章 評価結果

### 4-1 目標達成度

#### (1) コースニーズの継続性

##### ① コース設定時に把握されたニーズ

本コースが構想された時点でのニーズは以下のように把握されていた。

- ・アジア・大洋州地域諸国において人口増加が著しい。
- ・インドネシアにおいて、家族計画政策の成功実績があり、インドネシアの経験は他国の家族計画政策の改善に寄与する。
- ・インドネシア国家家族計画調整委員会（BKKBN）は、これまで家族計画に関する現場視察型国際研修の実施実績がある。

##### ② コースニーズの評価

割当国の応募状況から判断した場合、過去3年間は若干定員割れしているものの、年々増加の傾向があり（表2参照）、1996年度は定員に達しており、また過去4回のコースのなかで、すべての割当国から応募があり、各国にコースニーズが存在し増加傾向にあるといえる。

表2 研修員応募率および定員充足率

#### (2) レベルアップの程度

##### ① 目標指標

R/Dにおける本コースの到達目標は次のとおりである。

- ・家族計画における自国のIECプログラムを企画することができる。
- ・家族計画分野の簡単なビデオ番組を制作することができる。

##### ② 目標達成度

調査団が実施したクエスチョネアの結果によると、ほとんど100%に近い研修員が本コースは有益であったと回答しており、研修成果の高さを示している。コース修了時に研修員が作成するアクションプランのなかでも、本コースで得られた経験は自国に適應できると述べられ、また、事前に実施したフィリピンにおける帰国研修員へのインタビュー調査でも、インドネシアの経験は特に地方において有効であったという



意見を聴取しており、インドネシアのIECプログラムが各国に適応されていることが確認された。以上より全体として目標達成度は高いと判断できる。

ビデオ制作科目については、研修期間が短期間であり、しかも機材の数も限られているため、当初計画の到達目標「ビデオ番組を制作することができる」から「ビデオ制作過程を理解する」に変更された。ビデオ制作技術の習得は短期間では困難であるが、制作過程を理解するうえでは役立っていると考えられる。

## 4-2 研修効果

### (1) 実施機関による評価

調査団との面談結果をまとめると以下のとおりである。

本コースのカリキュラムは2部構成になっており、第1部ではインドネシアの家族計画・母子保健におけるIEC活動の説明と現場見学により、インドネシアの経験を伝え、第2部では普及メディアの一例としてビデオ番組の制作過程を理解させる。相互の役割は明確であり、密接な関係を保っている。講師の英語力については、ネイティブでないので若干英語力の低い者もいるが、講義するのに支障はない。参加者からビデオ制作研修の期間延長を望む声が多くあげられているが、全体の研修期間を延長するのは困難であり、機器数を増やし1グループ当たりの人数を減少させることで対処したいと考えている。研修員からの評価は高く、おおむね所期の目標は到達されていると考えている。

### (2) 派遣専門家による評価

派遣専門家は、ビデオ制作研修についてのみの協力であり、研修プログラム全体についての評価は困難である。ビデオ制作研修については、本コースに参加した各派遣専門家は、全体研修のなかでのビデオ制作の位置づけがあいまいであるという共通の問題認識を持っており、家族計画におけるIECの視点から考えると、各メディアの相互依存関係を前提としたビデオ制作であり、写真やスライド、ポスター、グラフィックス等を含め、複合的なメディアアプローチを研修内容に導入するための再検討が必要であると指摘している。

### (3) 研修員による評価

#### ① 調査団が実施したクエスチョネアによる評価

クエスチョネアの結果(資料1)によると、ほとんど100%に近い参加者が研修内容について有益であったと答えている。研修参加の目的を問う質問では、「インドネシアの経験知識を得るため」というものが最も多く、次に「他国からの参加者と意見交換を図るため」という回答が続いている。このことは、到達目標と研修ニーズが合致していることを裏づけている。そのため、期待充足度も高い。参加者の多く

(2/3以上)は、本研修で得た知識や技術を、かなりの程度現在の仕事に生かすことができると回答しており、インドネシアの家族計画推進手法は適応性が広いことを示している。特に自国のIECプログラムの改善に役立つと回答しており、参加者はおおむね所期の目標を達成していると考えられる。

しかしながら、ビデオ制作の時間が短いなどの意見もあげられており、ビデオ制作内容と制作にかかる時間とのアンバランスが指摘されている。

#### ② 帰国研修員へのインタビュー調査結果による評価

調査団は、フィリピンの帰国研修員4名に対し、インタビュー調査を実施した。調査結果をまとめると以下のとおりである。

1994年度と1995年度のコース参加者との間で、本コースに対する印象は若干異なるものの、有益だったという認識では一致している。特に地方レベルで、インドネシアの家族計画と母子保健のIEC活動手法を参考にし適応していることが報告された。このことは、宗教的な違いを超えインドネシアの経験手法は、他国でも活用できることを示している。

1994年度と1995年度の参加者との間で印象が異なった理由は、宿泊先およびフィールド見学先の違いによるところが大きく、研修内容の違いではない。研修内容の改善要望としては、同様なIEC活動のフィールド見学よりも、むしろビデオ制作に時間を割くべきとの意見が多い。これは、フィリピンの参加研修員全員が、Information Officerという広報活動業務に携わっている者であり、メディア制作に関心が高いことによると思われる。

#### ③ 第4回コース参加者との意見交換による評価

調査団は、研修実施機関(BKKBN)の許可を得て、第4回参加研修員全員との意見交換の場を設けた。研修員から出された意見・感想をまとめると以下のとおりである。

- ・フィールド見学先での家族計画や母子保健の活動手法は、すべてが整えられており模範的活動をシミュレーションしたものであったので、日常レベルの活動も見学する機会があれば、さらに有益な研修になったと思われる。
- ・フィールド見学を充実させるためには、オリエンテーション期間を短縮し、その分フィールド見学期間を延ばす方法が考えられる。
- ・研修プログラムのなかにビデオ制作は必要であると思われるが、1グループ6名での作業では、機器に触れる機会が少ないので、効果的な研修にするにはカメラ、編集機などの機材数を増やす必要がある。
- ・資料配布、時間調整、事務連絡や必要に応じて通訳をしてくれるコーディネータ

一（研修監理員）がいれば、さらにスムーズな研修運営が可能になる。

全体としては、参加研修員の大半は、本コースを他の同僚にも薦めると述べており、有益であったと考えられる。

#### （４） 帰国後における研修成果の活用状況

調査団が実施したクエスチョネアによると、ほとんどの研修員が、研修成果を自国の I E C プログラムの改善に役立てた、当該分野の職員に知識・経験を分け与えた、など帰国後何らかの形で活用している。その理由として

- ① 宗教や慣習にかかわらず、同様な家族計画・母子保健の推進活動ニーズが存在する。
- ② 研修カリキュラムがフィールド視察見学中心で、実践的な I E C 活動が行われており、自国のフィールドに適用しやすい。

などが考えられる。

#### （５） 研修成果向上のために改善すべき課題

以上の評価から判断して、本研修は全体的に成功しているといえる。フィールド見学主体の研修コースであり、インドネシアの家族計画推進の経験が、参加研修員に伝わるカリキュラムになっている。しかも、それらは実践的であり他国での活用・応用が可能である。しかしながら、後半のビデオ制作研修では、研修日程が非常に短期間であり、ビデオ制作経験のない者に対し、一定の成果をあげるのは困難である。そこで、さらに本研修を効果的にするためには、メディア制作の位置づけをより研修員のニーズに沿ったものにする必要がある。カリキュラムについて改善案は、以下の２つである。

- ① 家族計画推進において、地方レベルの多様なニーズに適応するため、ビデオだけでなくグラフィックス、写真、スライド、印刷パンフレットなどを複合的に活用し得るマルチメディアアプローチを取り入れた科目構成、指導方法の視点からのカリキュラム修正が必要であろう。
- ② 本コースはフィールド見学中心であるので、計画的ビデオ制作から記録型ビデオ撮影に変更し、記録撮影手法を研修した後、フィールド視察研修を実施し、フィールドを訪問した際に撮影する時間を設けるようカリキュラムを変更する。研修員は、撮影した記録ビデオを自国に持ち帰り、インドネシアの家族計画推進活動の実践を説明・普及する際に、役立てるようにする。

また、現状の研修機材については老朽化しており、継続期間中もたない可能性がある。ので、レンタル等を含め機材維持を検討する必要がある。

人材については、I E C の視点からメディア分野のカリキュラム設計、授業設計や教材作成ができる研修担当者が B K K B N 側に必要であり、日本で研修するなどして人材

を養成する必要がある。

#### 4-3 研修実施体制

##### (1) 業務運営体制

###### ① 受入先の業務運営体制

BKKBNのなかのITP (International Training Program) 部署が実質的な運営を担当している。同部署は、本件第三国研修のほかにも、家族計画に関する現場視察型の国際研修を5コース実施している。1987年から1994年までに1700名以上の研修員を海外から受け入れており、これまでのコース実施実績に裏づけされた研修指導能力および運営管理能力がある。フィリピンでの関係機関・関係者からの意見聴取でも、BKKBNの研修運営能力は評価されており、実際にタイムスケジュール表を用いて適切に実施されている。業務運営体制は確立されており、効率的に運営されているといえる。

###### ② 関係省庁の支援

研修は、基本的にはBKKBNの職員が実施しているが、ビデオ制作研修については、全過程を担当できる職員はいないため、教育文化省に属するメディア制作機関であるPUSTEKKOMの職員とITPの担当官が共同で実施している。

実施については、SEKKABがインドネシア側の窓口となり、割当国へのG. I. 送付、要請書の受領、研修員の選考、選考結果の各国政府およびJICAインドネシア事務所への通報などを受け持ち、協力している。研修員の選考は、本来研修実施機関で行うことが好ましく、またR/DにもBKKBNの分担事項になっているので、当然のことながらBKKBNが実施すべきである。過去3回の実施では、定員を応募者が割っていたため、特に選考はされていなかったが、第4回は定員18名に対し25名の応募があり、1997年度はさらに応募者が増えることが予想されるので、研修員の選考はますます重要となろう。

##### (2) コース運営体制

###### ① コース運営指導者

人口家族計画における国際研修担当主任のMr. Jasmin Kamilが実際の研修管理・運営にあっている。彼は、日本において視聴覚メディア制作におけるカリキュラム設計、研修運営等の研修を受ける予定である。

###### ② 講師陣

講師陣については、これまでの国際研修を実施してきた十分な知識と技術を備えた講師が適切に配置されていると考えられる。しかし、メディア制作研修については、

技術はあるものの研修実施経験がないため、日本人短期派遣専門家から指導法に関するアドバイスを受け、P U S T E K K O Mからの派遣職員と共同で実施してきた。B K K B N全体の組織のなかには、これまでJ I C A沖縄国際センターで視聴覚技術コースを受講した者が5名ほどおり、メディア研修期間の間だけでも彼らに研修を任すことができれば、P U S T E K K O Mの派遣職員に頼らずともB K K B N自体で運営することは可能であると思われる。

研修員からは、講師の英語力の低さについて指摘があったが、英語力そのものよりもむしろプレゼンテーション力に問題があると考えられ、視聴覚教材などを準備し効果的に活用していくことが必要である。

日本人専門家の派遣については、ビデオ制作研修だけでなく全体的なメディアにかかる授業設計、指導方法に今後重点が置かれるべきである。

### ③ 研修施設

B K K B Nの研修センターには、セミナールーム、図書室、食堂、宿泊施設が完備され、小規模ながらビデオ制作室があり、講義や実習はセミナールームを使って行われている。B K K B N内にある宿舎では、2人で1室を使用しており、研修員からは不満が出ていた。1～2日程度の期間で、宿舎の調整がつかない場合はやむを得ないと思われるが、長期にわたる場合は、個室を提供するよう改善が必要である。

ビデオ制作実習では、第1・2回コースは、S-VHS編集セットおよび編集コントロールが不足、第3回コースはビデオ機材の一部故障が発生し、研修に支障が出た。第4回コースでは、実習機材の不足・故障は改善されたが、1グループ6名の制作実習では、研修員が機材に触れる機会が少なく、役割を持て余す研修員も出てくることから、さらに効果的研修実施のためには、機材の充実、あるいは研修内容の変更等で対処する必要がある。また、現状の機材では、老朽化が進んでおり、近い将来機材の更新が必要との日本人専門家の意見もあり、今後レンタル等も含めて検討する必要がある。

### ④ 教材（テキスト、視聴覚教材）

視聴覚教材が不足しているため、日本人専門家がビデオ制作にかかる視聴覚教材・資料を数多く提供したが、ほとんど利用されていない。これは、通常業務が多忙であり、研修期間だけしか派遣されないP U S T E K K O Mの職員が中心となりビデオ制作研修を担当しているため、十分に研修準備ができず、提供した教材を利用して授業を組み立てる余裕がなかったことが原因であると考えられる。この面からも、今後は、B K K B Nの内部で教材作成、カリキュラム・授業設計ができる人材を養成する必要がある。

### (3) 研修実施方式

#### ① 研修機関選定理由

受入機関であるインドネシア国家家族計画調整委員会（BKKBN）は、以下の評価により、研修実施能力が高いと評価されている。

- a. 過去25年間にわたる家族計画分野での活動実績と成果に裏づけされるノウハウを有していること。
- b. 1987年から国際研修コースとして海外から研修員を受け入れ、家族計画分野における視察型研修を実施しており、すでに実施運営体制が確立していたこと。
- c. 小規模であるがメディア制作室があり、JICAプロ技供与の機材および世界銀行等による供与機材が備わっており、視聴覚メディア制作分野においても協力が可能であったこと。
- d. わが国が家族計画分野でのプロジェクト方式技術協力を1969年から二度にわたり実施しており、技術移転がされていたこと。
- e. アセアン諸国の中でも政治・経済的にリーダー的役割を担い、開発途上国からインドネシアの「人口・家族計画」の手法や実際例について高い研修ニーズがあり、第三国研修実施にあたる諸条件が整っていたこと。

#### ② 研修実施経費

R/Dに記載された両国政府の経費分担は次のとおりである。

##### a. 日本側負担経費

- ・周辺国からの研修員の国際航空運賃、宿泊料、日当および医療保険料などの受入諸費
- ・研修実施における外部講師謝金、研修旅費、教材費、事務員備上費および複写費などの研修諸費

##### b. BKKBN側負担経費

日本側が負担する経費以外で研修実施に必要な経費

#### ③ 経費負担額

各コースの実際の負担額については、表3のとおり。

表3 研修実施経費負担額

単位：ルピア	第1回コース	第2回コース	第3回コース	合計
日本側負担額	177,270,535	178,772,520	199,925,108	555,968,163
BKKBN側負担額	10,660,000	10,660,000	10,660,000	31,980,000
合計	187,930,535	191,932,520	210,585,108	587,948,163

日本側経費については、実施機関より提出のあった研修経費見積りに基づいて実施され、金額、内訳ともに特に問題はみられなかった。

#### (4) 研修実施上の課題と改善の方向

ここまで述べた課題と改善の方向を集約すると以下のようなになる。

① IECの視点から、より研修員のニーズに沿った視聴覚メディア制作研修を実施する〔4-2-(5)で述べた改善案の検討〕。

② コーディネーター（研修監理員）を配置する。

研修員が18名と多いため、研修に常に同行し、事務連絡、時間調整、資料配布や通訳などの面でサポートしてくれるコーディネーター（研修監理員）を配置することは、研修の効率・効果的実施につながる。

③ IECの視点からカリキュラム設計、授業設計や教材作成ができる人材を育成する。

BKKBNの自立に向けて、日本で上述分野の研修を受けるなどして、人材を養成していく必要がある。研修先としては、視聴覚技術コースを実施しているJICA沖縄国際センターがある。

④ メディア制作研修にかかる機材の増加および更新を検討する。

カリキュラム改善を検討する際、機材整備についても検討する必要がある。4-2-(5)で述べた改善案はいずれも機材整備、機器の増加が必要になる。さらに、現在使用されている機材も老朽化しており、近い将来更新が必要になる。今後、レンタル等の方法を含めて機材の維持・整備を検討する必要がある。

#### 4-4 自立発展の見通し

BKKBNに適切なスケジュール管理、講師配置など十分な運営体制がとられており、コース運営は安定している。BKKBNが実施する5つの国際研修コースは、すべて有料であり、参加者の多くはUNDPやUNFPAなどの国際機関やUSAIDなどの二国間機関から奨学金を受け参加している。このことを考えれば、将来資金面も含めて自立できる可能性は十分にあり得る。研修受講を有料にすることは、研修運営側に参加者からの評価・指摘をより真剣に検討させ、研修の質の向上につながり、質を一定水準以上に保つ方向に作用すると考えられる。

しかし、現状の本研修コースには、まだカリキュラム改善の余地があると思われる。カリキュラム改善・策定については、本コースを特徴づけている視聴覚メディア制作をどのように組み込んでいくか、日本人専門家を派遣し、BKKBN側とコース設計段階で十分な議論が必要となる。また、カリキュラムと連動する機材整備についても十分な議論が必要であろう。

## 第5章 総括

### 5-1 評価の総括

評価結果で指摘されているとおり、本第三国研修は当初の実施体制・計画に基づいて効果的に施行され、参加研修員からも高い評価を得ており、おおむねその目標を達成していると判断できる。インドネシアの家族計画政策の成功は国際的レベルで評価されており、特に1987年以来インドネシアBKKBNが実施している国際研修プログラムで積み重ねられた経験と実績を生かした本研修は、家族計画におけるIECとメディア制作をドッキングした点にその特色がある。

本研修でのわが国の役割は、研修を実施するための経費の支援とメディア制作分野での協力であった。BKKBN側としてはメディア制作をIEC分野の研修に導入する点に関しては本研修が最初であり、わが国から短期専門家を派遣することによって支援・協力できたことは意義があったと判断する。

本研修の短所としては、当初のカリキュラム計画段階においてIECにおけるメディア制作の位置づけが明確でなかった点であろう。その要因として考えられることは研修カリキュラム計画者（インドネシア側とわが国の研修前調査団を含む）のなかにメディア制作の専門家が参加していなかった点にあるのではないかと推察する。この点に関しては、評価結果でも述べているように短期専門家の派遣後ある程度カリキュラムの改善を試みた。本研修に対する周辺国のニーズは、応募状況および定員充足率も向上しており、本研修を継続することはきわめて有意義であると判断され、また将来インドネシアが援助実施国となるため、そして南南協力の観点からも有意義であると思われる。

### 5-2 提言

現行R/D期間は1997年度で終了予定であるが、本調査団がインドネシアBKKBNを訪問した際の合同協議の席で、Drs. Sardin Pabbadj (Deputy for Program Planning and Analysis), Dr. Loet Affandi Affandi (Deputy for General Affairs), Dr. Pudjo Rahardjo (Director of the International Training on Population and Family Planning), Prof. Santoso S. Hamidjoyo (Coordinator, International Training Program) らから口頭で延長要望の発言があった。正式には、別途外交ルートで延長要請の手続きが行われることとなるが、延長となる場合は、以下の項目を今後の研修に対し検討する必要がある。

#### (1) 研修カリキュラム

本研修カリキュラム上でのメディア制作の位置づけと研修内容を明確にする。この点に関しては、本研修全体の実質的責任者であり、カリキュラムの計画者であるBKKB



N国際研修主任が、沖縄その他の研修センターでの研修方法、マネジメント、カリキュラム等を視察する機会を提供する。なかでも、沖縄国際センター滞在中に、メディア制作の講義・実習内容の具体的計画（4-2-(5)参照）を立案することが望まれる。

#### (2) 核となるメディア制作専門家の養成

メディア制作分野の講義・実習の大半は外部講師により実施されているが、核となる講師はBKKBN国際研修所のメディア職員が担当することが望ましい。そのためには、当研修所のメディア担当主任が沖縄国際センターで実施されているメディア制作研修コース（4カ月）に参加することを推薦する。BKKBN組織全体からは数名の技術職員がすでに沖縄国際センターでの研修を受けているが、国際研修所での講義は直接担当していない。メディア制作の研修は短期間なので、将来より積極的に参加できるよう対処していただきたい。

#### (3) 研修機材

現行研修は研修員18名を3グループ（機材3セット）に分け簡単なビデオ制作を実施しているが、6名1グループの現状では実習に参加する者と参加できない者との知識・技術の差が顕著である。参加者全員により均等な研修機会を与えるためレンタル・購入等何らかの方法で機材の増設を図ることが必要である。現存の機材も老朽化しているので、研修期間が延長された場合5年間の使用に耐え得るかどうかも疑問である。さらに、テクノロジーの進歩は顕著であり使用機材の陳腐化も憂慮される。

#### (4) 研修教材

上記(2)で指摘したように外部講師主体の講師陣では研修教材の蓄積は困難である。研修を効果的、効率的にするためには国際研修所のメディア職員による積極的な教材制作が不可欠である。

#### (5) 割当国

本研修の割当国はアジア・大洋州地域諸国を主とした15カ国となっているが、インドネシア側の南南協力などを考慮し、割当国に個別単位でアフリカ圏を含めることを検討する必要がある。

#### (6) 短期専門家の派遣

カリキュラム立案、メディア制作分野での短期専門家の派遣を今後も続ける必要があろう。

# 資 料



1 終了時評価シート

第三 建築団 研修終了時評価シート

1. コースニース

(1) コースニースの存在が確認された国：第三国研修「家計計画における「EC」コースにおいてニーズが確認されている7ヶ国・大津州地域の国々  
(該当国：ドイツ、フランス、イタリア、オランダ、ベルギー、ギリシャ、ポルトガル、スペイン、ポランド、スロバキア、チェコ)

(2) コースニースの存在の確認方法：本コースへ派遣した日本人専門家の意見、現地機関及び研修生へのクエスチョネア等

	計	第1回 (1993年度)	第2回 (1994年度)	第3回 (1995年度)	第4回 (1996年度)
2. コースニースの変化					
(1) 応募者					
ア. 応募人数	$\frac{15}{15} = 100\%$	$\frac{9}{15} = 60.0\%$	$\frac{7}{15} = 46.7\%$	$\frac{9}{15} = 60.0\%$	$\frac{12}{15} = 80.0\%$
イ. 定員					
ア. 定員充足率	$\frac{14}{18} = 77.8\%$	$\frac{14}{18} = 77.8\%$	$\frac{15}{18} = 83.3\%$	$\frac{17}{18} = 94.5\%$	$\frac{18}{18} = 100.0\%$
イ. 定員	$\frac{18}{18} = 100\%$	$\frac{14}{18} = 77.8\%$	$\frac{15}{18} = 83.3\%$	$\frac{17}{18} = 94.5\%$	$\frac{18}{18} = 100.0\%$

2. コースの目標達成度

	計	第1回 (1993年度)	第2回 (1994年度)	第3回 (1995年度)	第4回 (1996年度)
1. インプットの達成計画					
(1) 日本側					
ア. 研修経費	1) イが2/100の原簿を決定し、年度毎に13,174千円 決定	1) 1,502千円	1) 1,502千円	1) 8,933千円	1) 千円
イ. 専門委託費	2) イが2/100の要請に基づき、年度毎に 決定	2) 原簿 年額(94/17-2/6) (附) 日本国際協力センター 知生 和(94/17-2/6) (附) 日本国際協力センター	2) 原簿 年額(94/15-7/13) (附) 日本国際協力センター 前川 昭彦(94/15-7/13) (附) 日本国際協力センター	2) 原簿 年額(95/18-7/9) (附) 日本国際協力センター 前川 昭彦(95/18-7/9) (附) 日本国際協力センター	2) 山城 吾郎(96/22-7/9) (附) 日本国際協力センター
(2) イが2/100					
ア. 講師・CP配属	1) イが2/100が事前決定	1) 講師 BKKBN メディア制作研修については、 PUSSECOMからの派遣講師が程 当	同 在	同 在	同 在
イ. 研修生宿泊施設・教材調達	2) イが2/100が手配	2) 研修生宿泊施設はBKKBN 所有の設備を利用			
2. アウトプットの達成計画					
(1) 研修員受入数	18名	14名	16名	17名	18名

Ⅲ.計画の妥当性

	第1回 (1993年度)	第2回 (1994年度)	第3回 (1995年度)	第4回 (1996年度)
(1) 到達目標	1) 「イ」国の家族計画の状況を知り、各 国からの参加者との意見交換を通じ、参 加者が自国の家族計画プログラムの改善 に役立てるようにする。 2) 基本的な現況調査メディア (ビデオ) 制作技術を修得する。	研修員の評価から判断すると目標 は概ね達成されたと思われる。	同左	
・研修実施機関による評価		2) ビデオ教材の問題もあり、3グ ループの内、1グループだけしか ビデオ制作を教えることができな かった。(専門家報告書)	2) ビデオ教材の一部が故障してお り、代替機が用意されたが、結果的 に実習ができなかったグループがで た。(研修員評価)	
・日本人専門家による評価		1月12日～2月5日	6月14日～7月9日 ・ビデオ制作に係る実習期間が短 い。	6月12日～7月7日
・研修参加者による評価	25日間			
(2) 研修期間、時期				
・研修参加者による評価				
(3) 奨 励 金	1. 各国政府から推薦された者 2. 国家家族計画に従事する中間 管理職 3. 英語の会話能力及び作文能力が十 分ある者 4. 心身共に健康である者	特になし	特になし	
・研修実施機関による評価				
・日本人専門家による評価				
・研修参加者による評価				
(4) 定員・前当国	1. 定員:18名 2. 前当国:15ヶ国	定員は過去4年間で、1996年を除くと受け入れ人数は定員に達していない。しかしながら、年々研修員の数は増加していること、視察型研 修が大半を占めている状況や、研修員の定員で定員であると考えられる。 過去4回のコースの中で、すべての前当国から応募があり、研修ニーズが確認された。各研修員は、研修報告書としてのアクションプランの中 で、本研修で得た経験を活かすために自国で活用するかと決めており、各々の国でインドネシアの経験を活用できる部分も多く、前当国については 妥当であったと判断できる。		
(5) カリキュラム	1. インドネシアにおける家族計画概要 2. 地域、西、村々の家族計画 活動概要 3. ビデオ制作 4. アクションプラン策定	・コース内容の位置付けが興味で あり、写真やスライド、ポスター、 クラフト、アクティビティ等を含め、複合的 なメディアアプローチを研修内容 に導入するための研修計画が必要。 (専門家報告書)	・同左	
(6) 講師陣	BKKBN 日本人講師 2名 (個別専門家) 外部講師1名メディア制作研修 日本側 177、270 千ルピア インドネシア側 10、660 千ルピア	BKKBN 日本人講師 2名 (個別専門家) 外部講師1名メディア制作研修 日本側 178、773 千ルピア インドネシア側 10、660 千ルピア	BKKBN 日本人講師 2名 (個別専門家) 外部講師1名メディア制作研修 日本側 199、925 千ルピア インドネシア側 10、660 千ルピア	BKKBN 日本人講師 1名 (個別専門家) 外部講師1名メディア制作研修
(7) 実地調査の割合	日本側 ・ 受入研修員就労費、滞在費等受入れ諸 費 ・ 外部講師謝金等研修諸費 インドネシア側 ・ コース運営に必要な経費で日本側が負 担しない経費の負担 (R/D)			

IV. 研修実施体制

1. 実施機関	インドネシア国家家族計画調整委員会 (National Family Planning Coordinating Board-BKKBN) 本研修の実施機関であるBKKBNは、「イ」国の家族計画プログラムを推進する政府機関として1969年に設立された。同機関は、ジャカルタの本部を中心に27の州、301の県レベルまでそれぞれオフィスを設け、政府機関及び民間機関と連携を取りながら家族計画プログラムを実施している。	第1回 (1993年度)	第2回 (1994年度)	第3回 (1995年度)	第4回 (1996年度)
計 画	SEKKAB 1. 担当国へのCI送付 2. 研修者受入 3. 担当国及びJICA事務所への研修要請通知 BKKBN 1. カリキュラム作成 2. CIの作成・印刷 3. 研修要請に必要な資料の配取 4. 研修施設・機器の提供 5. 研修員の受入 6. 研修員宿泊施設の手配 7. 航空券の手配、空港送迎 8. 研修旅行に関する手配 9. 日本領事館を除く必要機関に対する手配 10. 研修要請の発給 11. JICA事務所へのコースレポートの提出 12. JICA事務所への実施報告書及び精算報告書の提出 13. その他の研修に関する諸問題の調整	返答は概ね計画どおり行われた。BKKBNでは、ITP(International Training Program)部署が対応。同部署は本件第三国研修生等の他にも、家族計画に係る現地政府機関の国際研修を5コース実施している。BKKBNではビデオ制作研修の全過程を担当する職員は少ないが、教育文化省に属するメディア制作機関であるPUSTEKKOMに全面委託している。	同 左	同 左 *カリキュラムの内容や研修項目等を中心に記載し事前に研修員に情報を提供する必要がある。(専門家報告書) *次年度の役割の新しい若手研修員として参加していたので、目当について不満が出た。 *多くの研修員から食事について不満があった。(研修員評価)	同 左
3. コース運営体制	(1) 講師・職員	BKKBNではビデオ制作研修の全過程を担当する職員は少ないが、教育文化省に属するメディア制作機関であるPUSTEKKOMに全面委託している。同機関はビデオ制作に属してはプロレベルの知識/技術を有しており、欠けている点を強いてあげればビデオ制作初心者を対象とした研修経験であろう。(専門家報告書)	BKKBNは家族計画/母子保健分野において成果を上げていることに加え、毎年海外からの参加者に当該分野の研修をしており、新しく加わったビデオ制作分野を除いては研修指導能力が運営管理職には十分である。(専門家報告書) 短期専門家の派遣先としては、PUSTEKKOM職員とBKKBNのMPC改善に對し行われた。(専門家報告書)	学習指導方法や授業設計などに改善の必要性を強く感じた。(専門家報告書) 英語が不十分な講師がいた。(研修員評価) 多くの教材を持ち込んだにもかかわらず、ほとんど利用されていない。(専門家報告書)	

(2) 研修施設	BKKBNの施設を利用	同 左	同 左	同 左
(3) 教材・教材整備状況	BKKBNの買戻材を利用	英語に必要な買戻材の一部が未だ買戻されず、教材が有効に活用された。ただし、家庭用S-VHS編集セットが2台不足しており、他のベータカム機材が代用できるを待たなかった。不足分S-VHS編集セット及び編集コントロールは必需品であり調達が必要。	買戻に必要な買戻材の一部が未だ買戻されず、教材が有効に活用された。ただし、家庭用S-VHS編集セットが2台不足しており、他のベータカム機材が代用できるを待たなかった。不足分S-VHS編集セット及び編集コントロールは必需品であり調達が必要。	ビデオ機材の一部が買戻しており、代用機材が用意されたが、結果的に買戻ができていないグループができた。(研修員評価)
(4) カリキュラム見直しの実施状況		同 左	同 左	同 左
4. 自立の促進				
(1) 物的・技術的自立促進の見直し	過去25年間にわたる水産計画分野での活動実績と成果に基き、提供されたノウハウを有し、研修指導及び運営管理面では特に大きな問題はない。しかしながら、ビデオ制作の分野では、制作技術能力にあるものの研修方法や教材開発などに限る研修指導能力は低い。また、BCC活動におけるメディアの有効利用とは、教育、訓練及び情報伝達や普及啓蒙という目的を踏まえ、また上で手段を重んじることが必要である。			
(2) 組織的自立促進の見直し	実施状況は、1969年設立以来、ジャカルタの本部を中心に27州、301県に事務所を設け、政府機関、民間組織と連携を取りながら、インドネシアの東部計画プログラムを推進しており、フィールドワーカーやボランティアが村レベルの活動を支援している。また、海外向け研修コースも1987年以来、UNDP等の国際機関やUSAID等の二国間機関からの援助を得て実施しており、高い評価を得ている。			
(3) 財務的自立促進の見直し	BKKBNが実施する5つの海外向け研修コースは、すべて有料であり、参加者の多くはUNDP等の国際機関やUSAID等の二国間機関より奨学金を得て参加している。このことを考えれば、将来奨学金も含まれる可能性は十分ありえる。研修受講料を有料にすることは、研修運営前に参加者からの評価・評価をより正確に検討させ、研修の質の向上につながる。質を一定水準以上に保つ方向に作用すると考えられる。			

MINUTES OF MEETINGS  
BETWEEN THE JAPANESE EVALUATION TEAM AND  
THE NATIONAL FAMILY PLANNING COORDINATING BOARD  
ON THE THIRD COUNTRY TRAINING PROGRAMME  
IN THE FIELD OF INFORMATION, EDUCATION AND COMMUNICATIONS  
IN FAMILY PLANNING:  
INDONESIAN CASE STUDY AND MEDIA PRODUCTION

The Japanese Evaluation Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Prof. Saisuke Ieno, visited the Republic of Indonesia from July 3 to July 9, 1996 for the purpose of evaluating the training course in the field of information, education and communications in family planning, Indonesian case study and media production (hereinafter referred to as "the Course") organized by National Family Planning Coordinating Board (hereinafter referred to as "BKKBN") under the Third Country Training Programme of JICA, which has been carried out since the Japanese Fiscal Year (hereinafter referred to as "JFY") 1993.

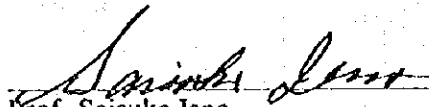
During its stay in the Republic of Indonesia, the Team had a series of meetings with BKKBN with respect to the progress and achievement of the Course.

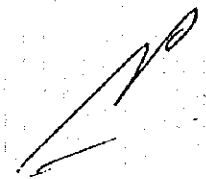
As a result of the meetings, both parties shared the view that the Course had contributed to the development of knowledge, skills and experiences in the field of information, education and communications in family planning and short video production among Asian and Pacific countries.

During the meetings, BKKBN requested the extension of the Course under the Third Country Training Programme of JICA. The Team promised to convey the request to the authorities concerned of the Government of Japan.

A list of the attendants of the meetings is attached as APPENDIX I. A summary report based on the meetings is attached as APPENDIX II.

Jakarta, July 8, 1996

  
Prof. Saisuke Ieno  
Head of the Japanese Evaluation Team  
Japan International Cooperation Agency (JICA)

  
Dr. Loet Affandi Affandi  
Deputy for General Affairs  
National Family Planning Coordinating  
Board (BKKBN)



## CONTENT

### APPENDIX I : LIST OF ATTENDANTS

### APPENDIX II : SUMMARY REPORT

#### I. BACKGROUND

#### II. ITEMS OF EVALUATION

#### III. EVALUATION

1. Course needs
2. Attainment of the Course objectives
  - (1) Inputs
    - a. JICA input
      - Expenses
      - Dispatch of Japanese experts
      - Counterpart training in Japan
      - Teaching materials
    - b. BKKBN input
      - Expenses
      - Assignment of lecturers, facilitators and instructors
      - Facilities and equipment
  - (2) Outputs
    - a. Accepted participants
    - b. Attainment of the Course objectives
      - Degree of attainment
3. Adequacy of initial plan
  - (1) Course objectives
  - (2) Duration
  - (3) Qualification of applicants
  - (4) Number of expected participants and invited countries
  - (5) Curriculum
4. Administration and management
  - (1) Implementing measures by Cabinet Secretary and BKKBN
  - (2) Course conduct
    - a. Lecturers, facilitators and instructors
    - b. Facilities and equipment
    - c. Training materials
    - d. Training method
    - e. Reconsideration of curriculum

#### IV. CONCLUSIONS AND RECOMMENDATIONS

- ANNEX I. The number of applicants and participants
- II. The list of the expenditures by year
- III. The list of JICA short-term experts, Accepted counterpart personnel
- IV. The list of lecturers, facilitators and instructors

## LIST OF ATTENDANTS OF THE MEETING

INDONESIAN SIDE

## BKKBN

- |                               |  |
|-------------------------------|--|
| 1. Drs. Sardin Pabbaddja      | Deputy for Program Planning and Analysis                                       |
| 2. Dr. Loet Affandi Affandi   | Deputy for General Affairs   |
| 3. Prof. Santoso S. Hamidjoyo | Coordinator, International Training Program                                    |
| 4. Dr. Pudjo Rahardjo         | Director of the International Training on Population and Family Planning       |
| 5. Dr. Ratna Tjaya            | Chief Bureau of Planning   |
| 6. Drs. Jasmi Kamul           | Division Chief of the International Training on Population and Family Planning |
| 7. Drs. Furqan IA Faried      | Sub Division Chief, Media Production   |
| 8. EdD. Donald S Chauls       | International Training Advisor   |
| 9. Drs. Wilma H. Goppel       | Consultant for South-South Cooperation<br>United Nations Population Fund       |

## Cabinet Secretariat

- |                    |   |
|--------------------|---|
| 1. Mr. Benny Hamid | Head, ASEAN Program Sub Division              |
| 2. Mr. Suprpto     | Head of Indonesia TCDC Programme Sub Division |

JAPANESE SIDE

## Evaluation Team

- |                        |   |
|------------------------|---|
| 1. Prof. Saisuke Ieno  | Head of Japanese Evaluation Team<br>Senior Instructor, Audio Visual Technology Division<br>Japan International Cooperation Center |
| 2. Mr. Yasumichi Araki | Staff, Training Affairs Division<br>Okinawa International Centre, JICA  |

**JICA Indonesia Office**

**Mr. Hiroto Kamiishi**

**Assistant Resident Representative**

**Short-Term Expert**

**Mr. Yoshinori Yamashiro**

**Instructor, Audio Visual Technology Division  
Japan international Cooperation Center**

## SUMMARY REPORT

**I. BACKGROUND**

Recognizing the growing needs for trained technical personnel in the field of information, education and communications in family planning activities in Asian and Pacific countries, BKKBN initiated the training course on information, education and communications in family planning : Indonesian case study and media production under the Third Country Training Programme in collaboration with the Government of Japan through JICA in the Japanese fiscal year (JFY) 1993, based on the Record of Discussions (hereinafter referred to as "R/D") signed on October 29, 1993.

The Course has been conducted once a year for the past four (4) years from JFY 1993 to JFY 1996 by BKKBN and supported by the Government of Japan under its technical cooperation scheme.

The purpose of the Course is to provide the participants from Asian and Pacific countries with an opportunity to update and upgrade relevant techniques and knowledge in the field of information, education and communications in family planning and acquire basic media production skills.

The Team visited the Republic of Indonesia for the purpose of reviewing and evaluating the past four (4) courses implemented from JFY 1993 to JFY 1996 through discussions with the authorities concerned and with the participants of the fourth Course.

**II. ITEMS OF EVALUATION**

Evaluation work was carried out based on the following four (4) items.

1. Course needs
2. Attainments of the Course objectives
3. Adequacy of initial plan
4. Administration and management

Information was acquired through the following methods.

1. Discussions with the authorities concerned
2. Interviews with participants of the Course
3. Questionnaire previously sent to BKKBN
4. Questionnaire previously sent to ex-participants
5. Course reports submitted by BKKBN after the completion of each Course
6. Reports submitted by Japanese short-term experts

### III.EVALUATION

#### 1. Course needs

Judging from the number of applicants per country, the needs for the Course are recognized in all invited countries as well as the number of applicants has increased year by year.

The number of applicants and participants is shown in ANNEX I.

#### 2. Attainments of the Course objectives

Attainments of the Course objectives are evaluated based on the inputs and the outputs of the Course.

##### (1) Inputs

###### a. JICA input

###### - Expenses

JICA provided BKKBN with the funds necessary for the invitation of overseas participants, their international economy-class air fare, accommodation, per diem and medical insurance premiums, as well as the expenditure for conducting the Course such as study tours, texts, teaching materials, expendable supplies, copies and honoraria for external lecturers. The total operational costs borne by JICA from JFY 1993 to 1995 summed up to about 556.0 million Rupiah and 244.6 million Rupiah are estimated to implement the fourth Course.

The financial report by year is shown in ANNEX II.

###### - Dispatch of Japanese experts

JICA has dispatched seven (7) short-term experts as instructors and advisors in the field of Media Production in the past four (4) years.

Their names and duration of stay are shown in ANNEX III.

###### - Counterparts training in Japan

JICA has accepted two (2) staffs as counterparts from BKKBN for training in Japan.

Their names, subject and duration of stay are shown in ANNEX III.

###### - Teaching materials

Japanese experts contributed teaching media materials such as videos, transparencies and texts to use for lectures and practice in video production.

###### b. BKKBN input

###### - Expenses

Besides the expenses financed by the Government of Japan, BKKBN has taken budgetary measures to bear the expenses necessary for conducting the Course. The total operational costs borne by BKKBN from JFY 1993 to 1995 were about 32.0 million Rupiah.

The statement of BKKBN expenditures is shown in ANNEX II.

- Assignment of lecturers, facilitators and instructors

BKKBN assigned an adequate number of staffs as lecturers, facilitators and instructors including media production staffs from BKKBN and PUSTEKKOM for the Course. They provided sufficient knowledge and techniques to fulfill the course objectives for the participants, and covered the entire area of the subject required in the Course.

The Course was basically implemented by the same lecturers, facilitators and instructors from JFY 1993 to JFY 1996.

The list of the lecturers, facilitators and instructors is shown in ANNEX IV.

- Facilities and equipment

BKKBN provided the training facilities and equipment needed for the Course, such as lecture rooms, library, accommodation, media production center, S-VHS video editing and mixing set, etc.

(2) Outputs

a. Accepted participants

On average, more than sixteen (16) participants were accepted on the Course annually. The accumulated number of participants for the past four (4) years is sixty-five (65).

b. Attainment of the course objectives

Objectives to be attained at the end of the Course are that the participants are expected to make a plan of their own countries' IEC programme in family planning, and understand the development of a short video programme depicting family planning activities in Indonesia.

-Degree of attainment

According to the Course Reports of the last three courses, most of the participants mentioned that the Course was very useful to develop their knowledge and skills in IEC as well as in family planning works.

Based on the results of the questionnaire surveys conducted by JICA, majority of the participants expressed that their expectations of the Course were well met, and that their main purpose were generally achieved through the Course. On the other hand, some of them had difficulties in utilizing their new knowledge and skills in their home countries, due to lack of facilities and budget.

The Team visited Philippines in order to survey ex-participants' performance after the Course. According to their opinions, they have applied the knowledge and skills gained through the Course to the situations in their province areas.

From the above results, it may well be concluded that the degree of attainment by the participants is considerably high.

3. Adequacy of initial plan

(1) Course objectives

Based on the degree of attainment, it can be concluded that the scope of the course objective was adequate.

(2) Duration

Twenty-five (25) days were scheduled for the Course including nine (9) days for media production session. The most of the participants requested the duration for video production to be extended.

### (3) Qualification of applicants

The R/D of 1993 stipulates that applicants for the Course are :

- (1) to be nominated by the respective governments in accordance with the procedure,
- (2) to be mid-level managers of government of family planning organization,
- (3) to have a good command of spoken and written English, and
- (4) to be in good health, both physically and mentally in order to complete the course.

### (4) Number of Expected Participants and Invited Countries

The number of the participants from the invited countries from JFY 1993 to JFY1995 was less than the expected in the initial plan. However, the number has increased year by year and finally reached the expected number in the course of JFY 1996.

Considering the circumstance of training most of which is spent on observation study tour, we consider that it is appropriate to keep the current capacity of eighteen (18) participants.

In past four (4) years the Course has accepted the participants from all the countries stated in the Record of Discussion as the "the invited countries". The country reports by the participants indicated that the experience provided in the Course can be applied to the actual situations in their countries. Therefore, it may well be said that the invited countries were adequate.

### (5) Curriculum

Curriculum has been considered carefully and designed quite well. According to the result of the questionnaires, majority of participants were satisfied with curriculum.

## 4. Administration and management

### (1) Implementing measures by Cabinet Secretary and BKKBN

As a whole, Cabinet Secretary and BKKBN have administered and managed the Course effectively for the past four (4) years. In spite of distributing the General Information six (6) months before the commencement, some participants pointed out the delay of the information arrival. Even though it may be caused by the domestic situation in the recipient countries, the supplementary measures to speed up the distribution of the General Information may need to be considered.

### (2) Course conduct

#### a. Lecturer, facilitators and instructors

Lecturer, facilitators and instructors have excellent knowledge and skills in the field of IEC and video production. On the other hand, some of instructors and staffs taking charge of the video production were eager to learn more effective instructional methods from Japanese experts.

b. Facilities and equipment

BKKBN provided adequate lecture rooms and necessary equipment to implement video production session in the Course. However, if there had been additional equipment, participants would have gained further skills in the field of video production.

c. Training materials

Training materials such as handouts, textbooks and AV media were used in lectures. Some of the instructional media in the area of video production were provided by the Japanese experts.

d. Training methods

The Course was implemented very effectively using much time on observations and discussions. Participants were encouraged to be actively involved throughout the course.

e. Reconsideration of curriculum

The curriculum of the Course is revised for improvement every year by reflecting the participants' opinions and results of evaluation of each previous year's Course.

#### IV. CONCLUSIONS AND RECOMMENDATIONS

Based on the evaluation study, both parties came to the following conclusions.

- (1) The Course has influenced some of the family planning policies in Asian and Pacific countries according to summary of the report and questionnaire by the ex-participants. It has provided a good opportunity to see IEC activities in promoting family planning programme in Indonesia and to enhance the knowledge and upgrade the technical level of the participants. In this sense, it can be judged that the Course objectives have been achieved.
- (2) In promoting family planning at the various situations adjusted to the local needs, multimedia approach such as video, graphics, still pictures and printed materials should be introduced in the curriculum. In this respect, the present curriculum need to be modified in term of course structure, instructional methodology and material, etc.
- (3) As it is considered that media in IEC play a vital role in promoting family planning activities, BKKBN had better bring up the media production staff in its own organization as well as other relevant family planning implementing.
- (4) It is better that the content outline of the curriculum should be described in the General Information, so that applicants will have more needed information concerning the curriculum before their departure.
- (5) For the further improvement of the course, BKKBN will make effort to improve more appropriate methods/materials for the training, with support from Japanese side if necessary, as some differences on understanding level of the curriculum contents among the participants are observed.



## THE NUMBER OF APPLICANTS AND PARTICIPANTS

	1993		1994		1995		1996		TOTAL	
	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
BANGLADESH	0	0	0	0	4	4	2	2	6	12
BHUTAN	1	1	0	0	1	1	1	1	3	5
CAMBODIA	2	2	0	0	0	0	3	2	5	7
CHINA	2	2	2	2	2	2	2	2	8	14
INDIA	0	0	2	2	2	2	1	1	5	10
LAOS	1	1	0	0	0	0	1	1	2	3
MALAYSIA	0	0	0	0	0	0	1	1	1	2
MOLDIVES	0	0	1	1	1	1	1	1	3	6
MONGOLIA	2	2	0	0	0	0	1	1	3	4
NEPAL	0	0	1	1	0	0	5	2	6	9
PAKISTAN	1	1	2	2	1	1	0	0	4	7
PNG	2	2	0	0	1	1	0	0	3	4
PHILIPPINES	0	0	4	4	3	3	0	0	7	14
SRI LANKA	1	1	4	4	0	0	5	2	10	16
VIETNAM	2	2	0	0	2	2	2	2	6	10
TOTAL	14	14	16	16	17	17	25	18	72	65

A= The number of applicants

B= The number of participants

# STATEMENT OF EXPENDITURE

ANNEX I

	1993			1994			1995		
	Contribution by Government	Contribution by JICA	Total	Contribution by Government	Contribution by JICA	Total	Contribution by Government	Contribution by JICA	Total
<b>1 INVITATION EXPENSES</b>									
(1) Air tickets	-	52,195,325	52,195,325	-	36,314,440	36,314,440	-	60,479,698	60,479,698
(2) Per diem	-	16,173,850	16,173,850	-	17,880,960	17,880,960	-	10,625,000	10,625,000
(3) Accomodation	-	34,201,570	34,201,570	-	39,592,440	39,592,440	-	39,750,250	39,750,250
(4) Medical insurance	-	894,600	894,600	-	1,044,480	1,044,480	-	1,534,760	1,534,760
(5) Others(transfer in/out)	-	720,000	720,000	-	610,400	610,400	-	1,080,000	1,080,000
<b>2 TRAINING EXPENSES</b>									
(1) Honoraria	3,000,000	6,200,000	9,200,000	3,000,000	6,200,000	9,200,000	3,000,000	6,825,000	9,825,000
(2) Employment Fee Secretary	160,000	-	160,000	160,000	-	160,000	160,000	-	160,000
(3) Transportation	-	21,453,320	21,453,320	-	26,641,600	26,641,600	-	23,674,300	23,674,300
(4) Material Procurement	-	7,700,000	7,700,000	-	6,027,500	6,027,500	-	6,250,000	6,250,000
(5) Textbook	-	11,192,000	11,192,000	-	12,528,000	12,528,000	-	14,606,000	14,606,000
(6) Facilitator	3,500,000	10,641,420	14,141,420	3,500,000	11,631,700	15,131,700	3,500,000	18,324,200	21,824,200
(7) Video Production Training	-	4,818,000	4,818,000	-	11,351,000	11,351,000	-	7,137,500	7,137,500
(8) Others	4,000,000	10,110,450	14,110,450	4,000,000	7,950,000	11,950,000	4,000,000	8,638,400	12,638,400
<b>3 MISCELLANEOUS</b>									
(1) Grand Total	10,660,000	177,270,535	187,930,535	10,660,000	178,772,520	191,932,520	10,660,000	199,925,108	210,585,108
(2) Unit cost/person/day interms of Training Expenses	30,457	506,487	536,944	26,650.00	446,931.30	479,831.30	24,118	452,319	476,437

**CATATAN**

- 1 January 12 - February 5, 19 : 14 orang
- 2 July 20 - August 13, 1994 : 16 orang
- 3 June 14 - July 9, 1995 : 17 orang

## LIST OF JICA SHORT-TERM EXPERTS

JFY	NAME	SUBJECT	DURATION
1993	Prof. Saisuke Ieno Mr. Jun Chinen	Instructional methods of video production	Jan. 17-Feb. 6, 1994
1994	Prof. Saisuke Ieno Mr. Tomoyasu Maekawa	Instructional methods of video production	Jul. 5-Jul. 13, 1994
1995	Prof. Saisuke Ieno Mr. Tomoyasu Maekawa	Instructional methods of video production	Jun. 18-Jul. 9, 1995
1996	Mr. Yoshinori Yamashiro	Instructional methods of video production	Jun. 22-Jul. 9, 1996

## ACCEPTED COUNTERPART PERSONNELS

JFY	NAME	SUBJECT	DURATION
1995	Mr. Surjanto SOEBARDJI	AV Equipment, Media Production and Training Management	Jan. 11-May 3, 1996
1996	Mr. Humphrey APON	Production of Audio Visual Communications Media	May 9-Aug. 29, 1996

LIST OF LECTURERS, FACILITATORS AND INSTRUCTORS

A. LECTURERS

1. Prof. Santoso S. Hamijoyo
2. Drs. Jasmi Kamil
3. Drs. Memed B. Kartadisastra
4. Drs. Binsar Sihombing
5. Drs. Lalu Sudarmadi
6. Dr. Harun Riyanto
7. Sanjaya Siswosoeumarto
8. Hidayat Muchtar
9. Radikun

B. FACILITATORS

1. Dra. Daricha Yassin
2. Dra. Sukarsinah Sudjono
3. Drs. Furqan IA Faried (and instructor)
4. Drs. Deddy Hermawan
5. Murfitriati, SE
6. Drs. Martin Munthe
7. Dra. Widyawati
8. Drs. Hadiyono

C. INSTRUCTORS

1. Suryanto
2. Untung Margono
3. Sugiarto
4. Amrihsyah
5. Bambang Mardi
6. Andi Hendaridi

3 クエスチョネア集計表

RESULTS OF QUESTIONNAIRES TO THE EX-PARTICIPANTS OF  
THE RESPECTIVE COURSE

1. COURSE NEEDS

(1) Do you think the Course was useful for your country considering the present situation of the field?

	1994	1995	1996	total
[1] Useful	2	3	18	23
[2] Too Advanced				
[3] Not met				
[4] Others		1		1

(2) Do you hope to attend another training at an advanced level in the future?

	1994	1995	1996	total
[1] Yes	2	3	18	23
[2] No				

2. OUTCOME OF THE COURSE

(1) What was your main purpose of attending the Course?

	1994	1995	1996	total
[1] to gain a general knowledge of the field	1	4	8	13
[2] to gain the knowledge of the Indonesia	1	2	14	17
[3] to gain the knowledge transfered from Japan to Indonesia	2		2	4
[4] to exchange views with from other countries	1	3	10	14
[5] to go abroad			1	1
[6] others				

(2) Were your expectations of the Course met?

	1994	1995	1996	total
[1] very much			5	5
[2] quite much	2	2	10	14
[3] somewhat much		2	3	5
[4] somewhat little				
[5] not at all			1	1

(3) To what extend did you acquire new knowledge and skills by attending the Course?

	1994	1995	1996	total
[1] very much			6	6
[2] quite much	2	1	9	12
[3] somewhat much		1	2	3
[4] somewhat little		2		2
[5] not at all			1	1

(4) To what extent did you improve your techniques by attending the Course?

	1994	1995	1996	total
[1] very much		1	6	7
[2] quite much	2	1	5	8
[3] somewhat much		1	6	7
[4] somewhat little		1		1
[5] not at all			1	1

(5) To what extent did you change your attitude or way of thinking towards your duties by attending the Course?

	1994	1995	1996	total
[1] very much		1	3	4
[2] quite much	2		6	8
[3] somewhat much	1	2	5	8
[4] somewhat little		1	2	3
[5] not at all			2	2

(6) In your own job, to what extent did you utilize the knowledge, techniques and experience acquired from the Course?

	1994	1995	1996	total
[1] very much		1	8	9
[2] quite much	2		5	7
[3] somewhat much		2	4	6
[4] somewhat little		1		1
[5] not at all			1	1

(7) Which subjects were useful and applicable to you?

*Community participation
* IEC management
* FP messages development and communication channel
* Video production
* IEC development
* Observation study tour

(8) In your own job, how did you utilize the knowledge, techniques and experience you acquired during the Course? (multiple choice answers)

	1994	1995	1996	total
[1] improving IEC programme in charge	2	2	14	18
[2] solving technical problems which I or my organization encounters.	1		1	2
[3] imparting to others who could benefit.	1	3	5	9
[4] others	1			1

(9) To what extent did you spread the knowledge and technique acquired from the Course?

	1994	1995	1996	total
[1] very much			4	4
[2] quite much	2	1	9	12
[3] somewhat much		3	1	4
[4] somewhat little				
[5] not at all			1	1

(10) In what way can you spread the knowledge and technique acquired from the Course?  
(multiple choice answers)

	1994	1995	1996	total
[1] informing my colleagues personally	2	2	10	14
[2] making a report on the Course by holding a briefing session in your organization	1		11	12
[3] giving lectures on training course or seminar in your organization		3	7	10
[4] producing publications	2	2	6	10
[5] others				

(11) What do you consider are obvious obstacles in utilizing /spreading what you have acquired from the Course ? (multiple choice answer)

	1994	1995	1996	total
[1] lack of trained personnel	2		3	5
[2] lack of support from superiors	1	2	3	6
[3] lack of foreign experts	1		4	5
[4] lack of facilities	2	4	6	12
[5] lack of technical literature	1	1	2	4
[6] lack of budget	2	3	8	13
[7] poor management		2	6	8
[8] promotion structure	1		1	2
[9] no in-service training				
[10] brain drain				
[11] others				

(12) Have you found any improvement in your job position/duty or work after attending the Course?

	1994	1995	1996	total
[1] Yes	2	4	16	22
[2] No			2	2

If "Yes", please check where applicable (multiple choice answers):

	1994	1995	1996	total
[1] salary rise	1		1	2
[2] promotion	1		1	2
[3] better qualification	1	3	3	7
[4] better reputation	1	2	2	5
[5] motivation for higher-education	2	2	4	8
[6] better job opportunities			1	1
[7] others				

### 3. OTHERS

In order to improve the Course program in the future, could you kindly give us your frank comments/ or suggestions?

- \* considering the ability of lecturers to communicate in English
- \* giving more focus on the production of IEC
- \* Camera should be supplied during the field trips



JICA